

雲の上のまち



広報

ゆすばら



栲原学園入学式

栲原町一般会計当初予算の状況 <P2>

施政方針 <P3~>

栲原町の組織機構及び職員配置表 <P10~>

町内全区に集落活動センター開所 <P15>

障がい者福祉大会 <P16~>

未来へ夢と希望をタイムカプセルへ <P26>

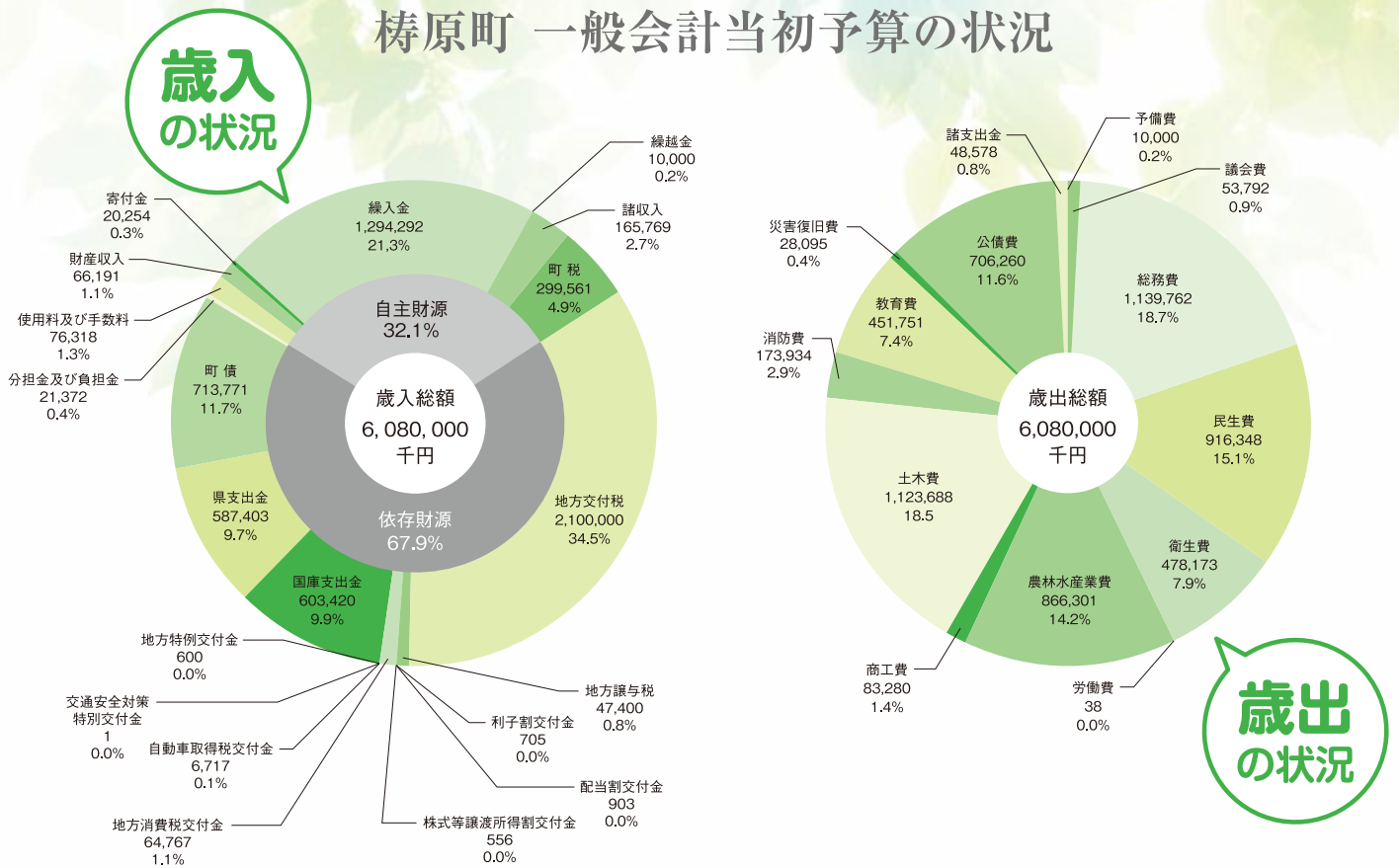
etc...

4 月号
2017
〈平成29年〉
No.706

●世帯数/1,804 (2月末)
1,800 (3月末)
●人口/3,627 (2月末)
3,619 (3月末)
○出生… 1 ○死亡… 5
○転入… 33 ○転出等… 36

平成29年度 一般会計予算 60億8,000万円

梶原町 一般会計当初予算の状況



▶ 一世帯当たり、一人当たりの予算状況

| 会計名 | 予算額(千円) | 一世帯当たり予算額(円) | 一人当たり予算額(円) |
|--------------|-----------|--------------|-------------|
| 一般会計 | 6,080,000 | 3,897,436 | 1,685,144 |
| 松原診療所特別会計 | 18,700 | 11,987 | 5,183 |
| 四万川診療所特別会計 | 14,800 | 9,487 | 4,102 |
| 国民健康保険特別会計 | 647,000 | 414,744 | 179,324 |
| 後期高齢者医療特別会計 | 62,000 | 39,744 | 17,184 |
| 介護保険事業特別会計 | 554,000 | 355,128 | 153,548 |
| 簡易水道事業特別会計 | 122,800 | 78,718 | 34,035 |
| 農業集落排水事業特別会計 | 31,200 | 20,000 | 8,647 |
| 下水道事業特別会計 | 89,800 | 57,564 | 24,889 |
| 風ぐるま事業特別会計 | 50,300 | 32,244 | 13,941 |
| 病院事業会計 | 636,415 | 407,958 | 176,390 |
| 計 | 8,307,015 | 5,325,010 | 2,302,388 |

平成29年度 施政方針



●はじめに

第332回梶原町3月定例議会が、3月6日(月)から10日(金)まで開催されました。矢野町長は平成29年度に臨み、次のように施政方針を述べました。

●心ひとつに50年、さらに50年先を見つめスタートする年

昭和38年の大豪雪、大豪雨からの復興の中で、未来に向かって新しいまちづくりを目指した町制施行以来、町民みんなで心ひとつに取り組んできた50年は、昭和から平成へ、20世紀から21世紀へと移り変わる、世界も、日本も大きく変化する時代でありました。

本町においても、取り巻く環境は、国と地方、広域連携、単独か合併、そして地方創生、地域の生きる仕組みづくりへと、常に選択と集中の中で、大きく変化してまいりました。

先人は、そうした変化する激動の時代の中で、伝統と文化を守り、決断と実行を繰り返しながら、今日の「梶原町」を、育て、築いてまいりました。

私達は、そうした過去に学び、社会がどのように変わろうが、次の時代に「梶原町」を、しっかりと引き継いでいかなければなりません。

そのためにも、本年度は「梶原町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の実施3年目を迎え、施設整備の柱である「ゆすはら複合福祉施設」と「ゆすはら森の中のまるごと図書館」が完成します。

また、妊娠、出産、育児にいたる子育て期に切れ目のない支援を行う「ゆすはら子育て世代包括支援センター」を設立するとともに、「梶原町一貫教育支援センター」の指導者等の充実を図り、妊娠期

から18歳までの一貫支援体制を整備してまいります。

さらに、東区と西区の「集落活動センター」が設立されており、六つの区の地域住民が助け合い、支え合いながら生きる仕組みが、いよいよスタートいたします。

未来を見つめながら、新しい人の流れをつくり、皆で心ひとつに、さらに50年先の「ゆすはら」に向かって、スタートしたいと考えております。

●梶原町の自治経営の基本

その梶原の生きる仕組みの基本は「自立」であります。

自立ということの意味は、自分で完結することではなく、周囲と様々な関係を築き、資金の提供を受け、それに見合う価値を生み出している状態のことです。その価値とは、財貨のみのことではなく、人が役に立っていると思ふ物やサービスのことであります。

また、「経営」と言う言葉の意味も、金を儲ける活動のことではなく、経営の本質は、社会に役立つ

価値を生み出し、社会から支持されることで生き残り発展する活動のことです。

そうした基本をもって目指す社会に向けて挑戦してまいります。

●梶原で生きるための環境整備が大きく進んできた

大きく変化する社会の中で、辺境の地といわれながら情勢を的確に捉えてきた本町の取り組みが着実に実を結んでまいりました。

命の道については、国道、県道、町道の幹線道路をはじめ農林道など地域資源を活用しながら生きる道路網整備の充実により、新しい人の流れができてまいりました。加えて、光ファイバー網を全世界帯に整備し、皆で支え合い、声を掛け合うシステムの充実を図りながら、不利な条件を一気に解消する基盤の整備が進んでまいりました。

また、命の水の確保や住宅の耐震対策、がけ崩れ住家対策、合併処理浄化槽の整備及び空き家改修等により、移住・定住の柱の一つである住環境の整備が大きく進ん



高知暮らしのフェア 2016の様子

でまいりました。

そうした住環境の充実と移住定住コーディネートや「くらそう梶原でサポート町民会議」の支援により、移住者は増加傾向となつてまいりました。

また、地勢条件も変わってきており、農政、林政、商工観光の各コーディネートを中心に、やる気の方々との連携強化に努めるとともに、カルスト牛のブランド化と六次産業に向かつて梶原町主体の「新たな畜産公社」がスタートします。

また、梶原を担う梶原人づくりでは、「保幼小中高一貫教育」を目指して、「梶原町一貫教育支援センター」の充実を図るとともに、

保護者、教員、教育委員会が常に問題と目的を共有し議論する仕組みづくりに取り組んでおります。

さらに、地域の主産業であります農林産業の継続を目指して「ゆすはら産業担い手育成塾」の推進を図り、人材確保に努めてまいりました。

●国・県の動向

国政では、昨年第3次安倍再改造内閣が発足し、私たちの選挙区選出の山本有二農林水産大臣が誕生しましたが、天皇陛下の生前退位を巡る問題をはじめ、憲法問題、TPP問題、原発・エネルギー問題、カジノ法案などの国内問題はもとより、アメリカでは「アメリカ第一主義」を絶対視するトランプ大統領が就任し、イギリスのメイ首相は欧州連合（EU）離脱を表明し、隣接韓国では、国政が不安定となり新しい大統領が誕生しようとしています。さらにロシア、中国、北朝鮮との関係など、世界が大きく変わろうとする中で、国内外において、日本の生き方を決めなくてはならない重要な年であると考えております。

そうしたことを踏まえると、数の論理でなく、しっかりと将来を見据えた丁寧な議論の中で、地に

足をつけた政策実行を進めていただくことを願っております。

そうした中で、1月には、平成28年度補正予算が国会で決定され、2月27日に、総額は過去最大の平成29年度一般会計予算総額97兆4,547億円が衆議院予算委員会でも可決され、15か月予算が動き始めております。

一般会計の歳出総額は過去最大規模となっており、社会保障費は高齢化に伴って5千億円増え32兆4,700億円と過去最大を更新し、地域経済の活性化を目指し、観光庁予算は過去最大の210億円を確保した予算となっております。

一方、尾崎県政は「施策の成果に徹底的にこだわり、さらなる進化を図っていく」こととし、第3期産業振興計画などで掲げている目標達成の成否に大きくかわる重要な年とし、飛躍に向けて全力を挙げて挑戦することとしております。

平成29年度一般会計は事業見直しなどに伴い、前年度比0.7%減の4,591億円と平成20年度以来のマイナス予算を計上されております。しかし、五つの基本政策のほか、中山間対策、文化芸術とスポーツの振興などの横断的政策に重点を置き、3月4日に開幕した



幕末維新博の地域会場となる梶原千百年物語り

「志国高知 幕末維新博」をはじめとした経済活性化などにも力を注ぐとしており、国の経済対策に応じた「15か月予算」ベースでみると、前年度比2.0%増の4,793億7,400万円となり9年連続の積極的な予算となつております。

本町の予算は、こうした国、県の動向を踏まえ、本町の課題解決に向けて、国・県への依存型の財政構造は変わりありませんが、梶原町まち・ひと・しごと創生総合戦略も3年目に入り、着実に成果を上げていかなければなりません。

「住民の不安の解消」や「福祉施設の充実」「産業の振興」「移住・

定住対策「人づくり」を重点に6つの社会づくりを推進するため、一般会計では、前年度比18.1%減の6億8千万円の予算となりましたが、国の経済対策に応じた15か月予算ベースで見ると0.8%増と前年度とほぼ同じ積極的予算となっており、11特別会計を合計いたしますと単純合計で前年度比13.6%減の92億4千7百万円の予算規模となりました。

その内容につきまして、六つの目指す社会ごとに申し上げます。

● 梶原ならではの保健・医療・福祉が充実した社会づくり「健康」

▽福祉のまちづくり（介護）

本年度は「福祉のまちづくり宣言」の実現に向けて、待望の地域福祉の拠点となる「ゆすはら複合福祉施設」が完成します。

また、福祉のまちづくりの一翼を担う梶原町社会福祉協議会の事務所で住民が気軽に相談できる窓口が始まり、保健福祉支援センターと梶原病院との連携がより一層充実したものととなり、「福祉のまちづくり宣言」の実現に向けて、新たにスタートします。

さらに、在宅を中心に、高齢者の移動手段の充実や「自分の健康は自分で守る」ことを合言葉に、

森林セラピー基地・ロードや雲の上の温泉・プール及び集落活動センター「はつせ」の岩盤浴サウナ等の地域資源を活用した健康づくりに関する仕組みづくりを行うとともに、社会福祉協議会各区担当職員と保健師及び理学療法士等が地域を訪問指導する体制により、在宅医療・福祉の充実を図るとともに、町と区・集落活動センター、町内各種団体及び町民が総合的に連携できる仕組みをつくりながら予防型社会を目指してまいります。

▽地域医療体制の充実

町民の命を守るために、梶原病院に5名の医師を確保し、四万川・松原診療所においては各1名の医師の支援をいただき、梶原病院を中心に梶原歯科診療所及び梶原町社会福祉協議会、さらに六つの集落活動センターとの連携により治療活動の充実と予防活動に積極的に取り組んでまいります。

▽医療保険事業

国民健康保険制度は、市町村が運営し国民皆保険制度を根幹から支えてきたところでありますが、平成30年度からは都道府県に運営を移管し規模を大きくして、財政



地域医療に取り組む梶原病院

基盤の安定を目指すこととなり、本町におきましては、今後の運営方法と本町の役割を町民に伝えていくとともに、昨年引き続き住民の負担を増額しないで、安心して医療を受けられる制度として、より一層の適正な事業運営に取り組んでまいります。

● 高齢化と過疎地域でも災害に強い社会づくり「環境」

地震、台風、集中豪雨、豪雪など、いつ、どこで、何が、どのように起こるか分からない異常気象の年が続いております。

そうした中で、本町においては、南海トラフ地震対策はもとより、再稼働した伊方原子力発電所から

50キロ圏内にあり、梶原町原子力災害避難計画を策定し、県との連携のもと避難訓練を重ねているところでもあります。

特に、高齢化が進み若い人が少ない地域では、個人の力だけでは対応できない火災や自然災害等に対応できる社会の支援の仕組みが重要になってまいります。

そのためにも、マンパワーの確保を始め、災害を防ぐ準備、災害発生状況の確実かつ正確な情報の伝達・収集、災害を最小限に抑える応急措置、そして被災後の復旧を早くする対策の5項目が欠かせない要素であると捉えて、自主防災組織と消防団及び各種団体と連携し、ミニ講座や防災訓練と防災施設、備蓄品等の整備の充実に努めてまいります。

▽「命の道」の整備

道路は、私たちが一生この梶原で生きるための最も重要な社会基盤であります。

その生きる手段であります国道197号「野越バイパス」の整備促進と国道439号下折渡及び鷹取から中平区間と町道佐渡鷹取線改築事業の早期完成に向かって積極的に取り組んでまいります。

また、主要地方道城川梶原線宮

野々工区、県道上郷梶原線下本村工区の整備促進を図りながら、未着手区間においては危険個所の改修に向けて要望活動に努めてまいります。

さらに、生活道の町道や農林道につきましても、継続的な整備と町民の皆様の日常生活を守り、安全安心な暮らしの確保に向けて町道の橋梁修繕及び耐震計画により、順次改修に努めてまいります。

●暮らしの安定と産業の振興・発展した社会づくり「産業・くらし」

暮らしの安定を図り、生活をすゝる上で働く場所の確保は、欠かすことのできない定住の大切な基本条件であり、農林業・産業の振興は、本町の重要なテーマであります。

そのために、農業、林業、商工観光の各コーディネーターと梶原町森林組合、梶原町商工会、津野山農業協同組合をはじめ町内の各種企業・団体はもとより、「ゆすはら産業担い手育成塾」としっかり連携し、人材育成を始め、生産から、加工、販売までのそれぞれが生きる仕組みづくりの確立に向かって積極的に支援してまいります。

▽付加価値の高い農・畜・林等一次産業の振興

農業では、大量生産の農家育成への支援と少量多品目を中心としたやる気のある生産者自らが一体となり、生産から販売までお金に換える経営を行う組織づくりを支援してまいります。

畜産では、畜産農家の頭数も徐々に増加傾向にあり、津野町が経営から脱退したことにより梶原町主体の「新たな畜産公社」を立ち上げて、畜舎等の施設整備を図り、地域資源を活用した夏山冬里方式の充実とカルスト牛のブランド化を目指すとともに、雇用の場を図りながら人材の育成に向かって、スタートいたします。

林業においては、木の時代に向けて高知県内の木材利用が木質バイオマス発電の原材料などエネルギー分野への利用、CLT(厚型パネル)工法の建築物への取り組みなど利用体系が大きく変わってまいりました。

このため、森林所有者や森林組合及び林業関係団体等と意見交換を重ねながら、それぞれの流域において、生産財、環境財としての育成方針を定め、林業経営の安定を図るために、伐採を進める搬出経費について、支援体制の充実を

図るとともに、担い手育成と経済の循環につなげてまいりたいと考えております。

商工業・観光においては、高幡5市町による「奥四万十博」の連携を「志国高知 幕末維新博」に繋いでいくとともに、地域資源を掘り起こしながら観光振興に取り組んでまいります。

また、ふるさと納税を推進するための「特産品の見直し」や「新しい特産品」づくりの支援体制の充実を図ってまいります。

▽自然や環境に配慮した暮らしの推進

また、職員の技術の向上による良質な堆肥が製造できている「土づくりセンター」の充実を図り循環型社会づくりに取り組んでまいります。

また、ゴミを出さない取り組みについて「梶原町廃棄物減量等推進員」の方々が活発な調査研究を行っていただいております。本年度は、町民の皆様へのその情報提供と啓蒙活動を図りながらゴミの分別と減量化に取り組んでまいります。

環境モデル都市として、再生可能エネルギーの自給率100%に向けて調査研究と清流四万十川の水質保全を図るために、合併浄化槽の

より一層の推進に努めてまいります。

●自信あふれる梶原人を育てる教育の確立した社会づくり「教育」

将来の本町のまちづくりを担う元気な子どもたちを育むために、「梶原町教育施策の大綱」に基づき、家庭・地域及びこども園・学校・行政が、それぞれの役割を果たすために、目的の共有と協働作業に取り組みながら、地域全体で子どもたちを守り育ててまいりたいと考えております。

特に、子育ての支援体制に向かって「梶原町一貫教育支援センター」に、専門的な指導者を配置し、定期的に補習を行います。また、新学習指導要領を先取りする形で、プログラミング教育やICTアドバイザーを召致し、教職員の意識改革、児童・生徒への情報活用能力を身に付けるため、ICT機器タブレットを導入活用し、学力向上を目指すとともに、社会で生きていることのできる力を身に付けた人材の育成に努めてまいります。

また、梶原学園の給食棟につきましては、学校、保護者の協力が得られるならば、子どもたちの安心安全な食の確保や食育のために



小中一貫で取り組んでいる運動会

も平成29年度基本設計、30年度詳細設計、31年度建築に向けて計画的に取り組んでまいります。

▽**保幼小中高の一貫教育の推進**

幼児児童生徒の発達段階を踏まえた教育活動の連続性を図るため、保幼小中高を連続したものと捉え、幼保連携型認定こども園としての広い視野での育成や学校種間の壁をなくした「教育課程の編成・実践」や「指導方法の工夫・改善」などを通じた仕組みづくりと合わせて、発達障害をはじめ特別支援児童への支援制度の充実など一貫性を持った継続的な学校運

営の充実を図るために、学校、地域、PTA、一貫教育センター及び教育委員会の連携を、さらに強めてまいります。

また、子どもたちの声が響く活力あるまちづくりに向かって、梶原高校野球部、梶原デイスカパークラブや海外留学支援など魅力ある高校づくりに、さらに支援体制を強化してまいります。

▽**生涯を通じて主体的に楽しく学ぶ場づくりの推進**

健康で豊かな人生を実現するためには、学校卒業後の社会人もその志向や職業等に応じた様々な学習をすることができる環境が必要であり、情報化社会の機能も活用しながら、「ゆすはら森の中のまると図書館」を生かして生涯学習の推進を図ってまいります。

また、町民の生涯学習の仕方を変更し「知」を育む拠点として、梶原を思う世界の知識人の人材バンクとして、また、「梶原の魅力」をグローバルに守り伸ばすために、「YUSUHARA研究所(仮称)」を立ち上げてまいりたいと考えております。

さらに、高知県全域で展開する「志国高知 幕末維新博」と連携をした「第6回龍馬脱藩マラソン

大会」の開催や健康づくりと体力増進を住民自らが主体的に進めるために、「雲の上のスポーツ」の種目の充実に取り組んでまいります。

▽**伝統文化を引き継ぐ「芸術祭」**

ゆすはら未来大使としてご尽力いただいております東京藝術大学学長澤和樹氏のご支援をいただきながら、本年の芸術祭については、音楽を中心に、大学と学園や高校との交流をはじめ、町民との交流の中で一流の音楽を通じた人材の育成に努めてまいりたいと考えております。

●**人の尊厳が守られ「絆」を大切にする社会づくり「くらし」**

▽**梶原町まち・ひと・しごと創生総合戦略・「小さな拠点ゆすはらづくり」に向かっ**

梶原町まち・ひと・しごと創生総合戦略も3年目を迎えました。町内外の方々とまちづくりのキーワードである「絆」の良き面をさらに磨き「自立」する地域づくりに向かって、着実に歩を進めてまいります。

そのために、本年度は、次の項目について取り組んでまいります。

「**人と人の絆を大切にするまちづくり**」

人の健康をとりもどす再生の場として「新しい道の駅ゆすはら丸ごとクリニック」構想の実現に向かって、現地の調査をはじめ様々な方々との意見交換会などしっかりと検討を重ねてまいります。と考えております。

「**支え合う集落活動センターとの連携づくり**」

本年3月には、「自分たちでできることから進めよう」と西区・東区が「集落活動センター」を設立いたしました。いよいよ六つの集落活動センターが活動いたします。

西区の集落活動センターの活動の一つは、人材を生かし町内全域にわたる鳥獣被害対策のために、移動式解体車(ジビエカー)の導入を図り、捕獲から解体、加工、販売まで一連の作業を行う取り組みへの支援とともに、商工会等と連携を図りジビエ料理として資源を活用しながら「ジビエグルメのまちづくり」に向けての取り組み等について支援をしてまいります。

また、東区の集落活動センターの活動は、旧若草保育所を活用し、

それぞれの施設や地域を繋ぐ役割をもった「福祉のまちづくり宣言の中心地」として、その実現に向かって、福祉施設等の管理運営や高齢者を支える代行事業、町内の廃棄する農産物等資源を活用し、収集販売システムづくりなどの取り組みについて支援をまいります。

このように、それぞれの地域性を生かす取り組みや、二つ以上の集落活動センターの連携による取り組み、全域での連携による取り組みなど地域の課題解決に向かって幅広い取り組みができるように、六つの集落活動センター連絡協議会の充実と「ゆすはら応援隊」の配置を行いながら、人材育成と財源確保及び経営の安定化に向けて、積極的に支援してまいります。

「保健・医療・福祉・介護の充実したまち」

町民の「一生梶原で過ごしたい」の思いの実現に向かって、「ゆすはら複合福祉施設」が完成します。この施設の完成により、在宅の生活を基本に、要支援、要介護に認定された方々が必要に応じて入所退所ができることになり、要介護度3以上に認定された方は特別養護老人ホーム「梶原ふじの家」を

利用することができるようため、町外に転出する不安もなくなり、安心して生活できる環境と新たな雇用の場を確保するものであります。こうした方々を始め、移住定住の方々が生活する拠点施設である「住宅」についても、空き家改修や竹の藪の旧小学校跡地に、計画的に順次整備してまいります。

「生きものにやさしい低炭素なまち」

高知県と四電エンジニアリング及び本町の3者において、平成27



四国カルスト台地の風力発電施設

年2月9日に基本協定を締結し、調査検討を重ねてまいりました。現状の送電線の売電量は最大で2000kwまでの容量しか利用できないことが判明したので、四国カルスト台地に、1基2000kwの風力発電施設を設置することについて、町単独かSPC(特別目的会社)か第三セクターかの主体性や施工の方法、維持管理など、さらに調査や検討を行うとともに、その他太陽光発電や給湯器等の推進を図り「環境モデル都市」として、2050年の目標である自然再生エネルギー自給率100%を目指してまいります。

「自信あふれる梶原人を育てるまち」づくり

人と人を繋ぐ場、わくわくする「ゆすはら森の中のまるごと図書館」が完成します。

また、町内は全域が動植物をはじめ生きる自然資源の図書館であります。

このため、完成するまるごと図書館では、人と人を繋ぐ場として、子育ての場として、そして、町内全域の自然図書館と地域とまるごと図書館を拠点として結ぶ仕組みをつくることにより、町民みんなで知識の共有を図りながら、町民

自らが梶原人という金の卵(人材)を産む金の鶏(育成者)になるような、本町を担う人を育てるまちづくりに取り組んでまいりたいと考えております。

「移住・定住対策について」であります。

若い世代の結婚、出産、子育てについては、特に、出生率は女性の社会に対する信頼の指標とも言えます。この梶原で、子どもを産むことが、母親自身、夫婦にとつて、子どもの将来にとって希望に



図書館内部イメージ

つながるかどうかが問われております。

そのために、出会いの場づくりの支援はもとより、変化の激しいこれからの社会を生きたため子育て世代の支援として、不妊治療に對しての支援制度の充実と妊娠・出産・子育て期にわたる切れ目のない支援体制に向かって「ゆすはら子育て世代包括支援センター」を設立してまいります。

そのためにも、空き家改修や高知県住宅供給公社から三島崎ハイツを取得するなど住宅整備支援、雇用の場の確保等の条件整備を図るとともに、移住定住コーディネートーターを総合窓口に、全国各地で移住定住のPR活動を行うとともに移住者を支援する「くらそう棒原でサポート町民会議」と連携を図りながら、人口減少に立ち向かってまいります。

●「対話と満足度」を高める役割がある社会づくり

いよいよ、六つの集落活動センターを拠点に棒原の新たな生き方の始まりであります。

特に、国、県に大きく財源を依存している本町においては、限られた財源で棒原町の地域社会と住民の思いを達成し、いかに生きる

か、その生きる仕組みづくりが求められております。

そのためには、様々な情報をもっている役場職員の役割は大きく、職員みんなで心ひとつに、全ての事業を連携する協働作業が必要であります。

しかしながら、昨年は、公金の不正経理が発覚し、町民の信頼を大きく裏切ることとなりました。ここに、心からお詫びを申し上げるところであります。そうした中で、棒原町議会におきましても、いち早く特別委員会を立ち上げていただき、12月定例会でご報告、ご提言をいただきましたことを深く重く受け止めております。二度とこうしたことを起こさないために、「棒原町議会公金管理に関する調査特別委員会」のご提言及び「棒原町役場が町民より信頼される良い組織となるための第三者委員会」の答申を踏まえて、事務処理の仕方や倫理規程の制定、職員の在り方と人事改革等条例、規則、規程の見直しをしっかりと行いながら一人ひとり、町民の奉仕者として信頼回復に全力で取り組んでまいります。

そのためにも、私たちは原点にたちかえり基本を大切に、そして大きく変化する社会を生き抜

くために変化に対応する力を養う、さらに、全ての職員が連携し信頼回復と適正な事務事業に取り組んでいくために、「基本・変化・連携」の三つの言葉を平成29年の職員との目標にいたしました。

本年は、行財政運営が厳しい社会の中で、町制施行50年から次の50年にスタートする年であります。

世の中が、どのように変わろうが、今を生きている私たちは「ふるさとゆすはら」を絶えることなく、未来に引き継いでいかななくてはなりません。

世界は、日本は、社会は大きく変化しております。

先人は、時代の変化をしっかりと捉え、決断と実行を繰り返し、着実に「ゆすはら」という、地域社会をつくり続けてまいりました。

そうした中で、今、再び「ゆすはら」を取り巻く「人」の流れが大きく変わり始めました。

その「人」を大切にしてきたのは、「ゆすはら」であります。いくら、近代化が進んでも、情報が秒単位で世界を駆け巡っても、文化を引き継いでいけるのは「人」であり、「人」が動くことが求められていきます。

そのための町内の人づくりをはじめ、町外、世界に「ゆすはら未来大使」の拡大や棒原を支えてくれる人、応援団をつくり一人ひとりと関係を深く強く築きながら、人の輪を大きく広げていかななくてはならないと考えております。

私にとりまして、本年は任期最後の年となりました。

この3年間の取り組みの仕上げの年でもあります。

多くの方々に支えられて、町民の皆さんと心ひとつに様々なことに取り組ませていただきましたことは、まさに「人」の力であり、やさしさであります。

私は、そうした「人」の生き方に学びながら、人と人の絆を大切に「棒原人」づくりに向かって、職員を激励し町民の皆様の熱き思いを、心を一つにすることに意を注ぎながら、「選ばれた町」に向かつて全身全霊を注いでまいります。

梶原町の組織機構及び職員配置表

H29.4 現在

議会事務局

事務局長 大川 真一郎

町 副
長 町 長
矢野 吉田
富夫 尚人

総務課

課長 二宮 健志

総務係

条例・規則 町有財産の管理総括 町営住宅の管理運営
庁舎環境管理システム 町長秘書業務 交通共済

主監 兼 係長(行政担当) 下村 千佳 中越 香菜・山崎 香弥
吉岡 まどか(秘書) 立道 直美(総務課付)

危機管理係

自主防災組織 消防 防災・災害対策 情報通信施設
危機管理全般 交通安全

係長 高橋 里香 山内 孝信

税務係

町税の賦課徴収 国民健康保険税 税務全般

係長 石川 智也 笛木 保志・高山 愛

住民係

戸籍 住民登録 印鑑登録 埋火葬許可 外国人登録
国民年金 各種証明 マイナンバー

係長 上川 尚子 中越 未来

企画財政課

課長 西村 新一

企画・定住対策係

町行政の企画調整 陳情・要望 行政改革 若者等の定住対策
統計 政策企画全般

係長 松山 真弓 来米 真子
移住定住コーディネーター 片岡 幸作

財政係

予算編成 町財政計画・町債 財政全般

係長 中越 千晴 堀 情二

まちひと・しごと創生 総合戦略推進室

まち・ひと・しごと創生事業 集落活動センター ゆすはら応援隊

主監 兼 室長 山本 和正 宮岡 慎太郎・松本 裕子

環境整備課

課長 矢野 準也
(兼工事検査長)
参事 中越 健三

建設係

道路整備・管理 防災・災害復旧 農林業基盤整備
まちづくり基盤整備 土木・建築 登記事務

係長 上田 真悟 本龍 美智子(登記担当)・下村 雪晃
那須 千裕・横川 拓也

生活環境係

上・下水道 景観の保護・保全 し尿処理・廃棄物処理
狂犬病予防・死亡獣畜 昆虫駆除 清掃 墓地

係長 田尾 由紀 國元 憲法

環境モデル都市 推進室

環境モデル都市 風力発電等新エネルギー
木質バイオマス地域循環モデル事業 資源・エネルギー全般

室長 中越 健三(兼) 十亀 勇一郎

産業振興課

課長 来米 修作
参事 入交 信太

農政係

農業・畜産業 津野山畜産公社 鳥獣被害対策

係長 川村 幸司(兼) 秋田 耕司・垣内 なつき
農政コーディネーター 西村 信明

林政係

林業 伐採届 森林所有者届 火入れ許可
狩猟・鳥獣飼養・有害駆除

係長 入交 信太(兼) 中越 裕也・武田 勇希(研修生)
林政コーディネーター 入交 信太(兼)

商工観光係

商工業 観光業 水産業 計量検査 自然公園管理
太郎川公園管理運営 産業振興・地域振興

係長 花田 多恵 吉村 恋子
商工観光コーディネーター 阿部 俊介(委嘱)

出納室

出納室長 川上 博明
(兼会計管理者)

出納係

出納事務 決算の調整 資金計画 基金管理

係長 山下 三千恵

保健福祉支援センター・栲原病院組織機構及び職員配置表

H29.4 現在



教育委員会等組織機構及び職員配置表

H29.4 現在



選挙管理委員会 — **事務局**
局長 二宮 健志(兼) 下村 千佳(兼)・中越 香菜(兼)・吉岡 まどか(兼)・山崎 香弥(兼)

監査委員 — **事務局**
局長 大川 真一郎(兼)

農業委員会 — **事務局**
局長 来米 修作(兼) 秋田 耕司(兼)

退職者・転任者等

平成29年3月31日付で、次の方が退職・転任されました。

- 退職者**
- 梶原 哲哉 (生涯学習課参事)
 - 森本 純生 (生涯学習課参事)
 - 鉢村 勉 (産業振興課参事)
 - 森下 弾 (栲原こども園保育教諭)

春 の 人 事 異 動

| 梶原学園 小学校の部 | 梶原学園 中学校の部 | 梶原高等学校 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------|--------------------|--|------------------|--|-------------------|--|-------------------|--|----------|--|--------|----|------------------|--|-----------------|--|------------------|--|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-------------------|--|---------------------|--|-------------------|--|--------|--|--------|----|-------------------|--|--------------------|--|---------|--|---------|--|---------|--|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----------------------|--|---------|--|--------|--|--------|--|---------|--|--------|--|--------|----|--------------------|--|---------------------|--|-----------------|--|-----------------------|--|-----------------------|--|-----------------|
| <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="background-color: #4caf50; color: white; text-align: center;">転入</td><td>教諭 高田多鶴子 (泉野小学校より)</td></tr> <tr><td></td><td>“ 北岡美佐 (上分小学校より)</td></tr> <tr><td></td><td>“ 五十嵐彰英 (伊野小学校より)</td></tr> <tr><td></td><td>事務 竹本佳代 (仁淀中学校より)</td></tr> <tr><td></td><td>講師 大村菜穂子</td></tr> <tr><td></td><td>“ 国澤将文</td></tr> <tr><td style="background-color: #4caf50; color: white; text-align: center;">転出</td><td>教諭 谷口忠大 (大篠小学校へ)</td></tr> <tr><td></td><td>“ 笹岡美恵 (精華小学校へ)</td></tr> <tr><td></td><td>事務 大崎聡子 (須崎中学校へ)</td></tr> <tr><td></td><td>講師 西森俊介</td></tr> </table> | 転入 | 教諭 高田多鶴子 (泉野小学校より) | | “ 北岡美佐 (上分小学校より) | | “ 五十嵐彰英 (伊野小学校より) | | 事務 竹本佳代 (仁淀中学校より) | | 講師 大村菜穂子 | | “ 国澤将文 | 転出 | 教諭 谷口忠大 (大篠小学校へ) | | “ 笹岡美恵 (精華小学校へ) | | 事務 大崎聡子 (須崎中学校へ) | | 講師 西森俊介 | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="background-color: #4caf50; color: white; text-align: center;">転入</td> <td>教頭 網藤裕志 (黒岩中学校より)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>養護教諭 柴原花清 (馬路小学校より)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>講師 仲 勇輝 (窪川中学校より)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>“ 松田美咲</td> </tr> <tr> <td></td> <td>“ 北村啓佑</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #4caf50; color: white; text-align: center;">転出</td> <td>教頭 西森大城 (浦ノ内中学校へ)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>養護教諭 中谷有紀 (香南中学校へ)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>講師 妙木彩夏</td> </tr> <tr> <td></td> <td>講師 堀内建策</td> </tr> <tr> <td></td> <td>講師 前田裕佑</td> </tr> <tr> <td></td> <td>講師 花岡知歩</td> </tr> </table> | 転入 | 教頭 網藤裕志 (黒岩中学校より) | | 養護教諭 柴原花清 (馬路小学校より) | | 講師 仲 勇輝 (窪川中学校より) | | “ 松田美咲 | | “ 北村啓佑 | 転出 | 教頭 西森大城 (浦ノ内中学校へ) | | 養護教諭 中谷有紀 (香南中学校へ) | | 講師 妙木彩夏 | | 講師 堀内建策 | | 講師 前田裕佑 | | 講師 花岡知歩 | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="background-color: #4caf50; color: white; text-align: center;">転入</td> <td>教諭 小島由峰子 (高知道手前高校より)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>講師 谷岡亮輔</td> </tr> <tr> <td></td> <td>“ 土居翔太</td> </tr> <tr> <td></td> <td>“ 正木直樹</td> </tr> <tr> <td></td> <td>“ 宮本建士朗</td> </tr> <tr> <td></td> <td>“ 谷内 陽</td> </tr> <tr> <td></td> <td>“ 藤岡洋平</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #4caf50; color: white; text-align: center;">転出</td> <td>教諭 溝渕加純 (高知道手前高校へ)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実習助手 明石 充 (高知農業高校へ)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>講師 宮本雄太 (清水高校へ)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>“ 橋田和樹 (財ススポーツ振興事業団へ)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>“ 吉松 望 (山田高校・高知農業高校へ)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>“ 武政恭平 (太平洋学園へ)</td> </tr> </table> | 転入 | 教諭 小島由峰子 (高知道手前高校より) | | 講師 谷岡亮輔 | | “ 土居翔太 | | “ 正木直樹 | | “ 宮本建士朗 | | “ 谷内 陽 | | “ 藤岡洋平 | 転出 | 教諭 溝渕加純 (高知道手前高校へ) | | 実習助手 明石 充 (高知農業高校へ) | | 講師 宮本雄太 (清水高校へ) | | “ 橋田和樹 (財ススポーツ振興事業団へ) | | “ 吉松 望 (山田高校・高知農業高校へ) | | “ 武政恭平 (太平洋学園へ) |
| 転入 | 教諭 高田多鶴子 (泉野小学校より) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | “ 北岡美佐 (上分小学校より) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | “ 五十嵐彰英 (伊野小学校より) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 事務 竹本佳代 (仁淀中学校より) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 講師 大村菜穂子 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | “ 国澤将文 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 転出 | 教諭 谷口忠大 (大篠小学校へ) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | “ 笹岡美恵 (精華小学校へ) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 事務 大崎聡子 (須崎中学校へ) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 講師 西森俊介 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 転入 | 教頭 網藤裕志 (黒岩中学校より) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 養護教諭 柴原花清 (馬路小学校より) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 講師 仲 勇輝 (窪川中学校より) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | “ 松田美咲 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | “ 北村啓佑 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 転出 | 教頭 西森大城 (浦ノ内中学校へ) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 養護教諭 中谷有紀 (香南中学校へ) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 講師 妙木彩夏 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 講師 堀内建策 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 講師 前田裕佑 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 講師 花岡知歩 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 転入 | 教諭 小島由峰子 (高知道手前高校より) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 講師 谷岡亮輔 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | “ 土居翔太 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | “ 正木直樹 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | “ 宮本建士朗 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | “ 谷内 陽 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | “ 藤岡洋平 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 転出 | 教諭 溝渕加純 (高知道手前高校へ) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 実習助手 明石 充 (高知農業高校へ) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 講師 宮本雄太 (清水高校へ) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | “ 橋田和樹 (財ススポーツ振興事業団へ) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | “ 吉松 望 (山田高校・高知農業高校へ) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | “ 武政恭平 (太平洋学園へ) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>県職員等</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 転出 | 西部家畜保健衛生所梶原支所 所長 山岡昭彦 (中央家畜保健衛生所嶺北支所へ) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 転入 | “ 酒井賀彦 (西部家畜振興課より) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 転出 | 梶原駐在所 所長 石建博章 (高知東警察署本山警察庁舎へ) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 転入 | “ 吉川 成 (高知東警察署本山警察庁舎より) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 5 月 の 行 事 予 定 | |
|----------------------------------|------------------------------------|
| 9日(火) 梶原学園8年生職業体験(12日まで) 小児検診 | 14日(日) 梶原学園6年生修学旅行(16日まで) |
| 10日(水) 梶原学園9年生修学旅行(13日まで) | 17日(水) 行政相談 第19回梶原町雲の上杯ゲートボール大会 |
| 12日(金) 小児健診 | 20日(土) 梶原町交通安全の日 |
| 13日(土) 環境整備デイ | |

| 5 月 の 保 健 福 祉 支 援 セ ン タ ー 行 事 予 定 | |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|
| 9日(火) 小児健診 | 18日(木) 健診説明会(四万川) |
| 10日(水) 松原サテライト | 19日(金) 東区いきいき 四万川宅老所 |
| 11日(木) 越知面デイ友の会 | 25日(木) 四万川いきいき |
| 12日(金) 初瀬いきいき | 28日(日) 高知県障害者スポーツ大会(春野総合運動公園) 西宮鍼灸ボランティア(夢未来館1階) |
| 16日(火) 健診説明会(松原) | |
| 17日(水) 健診説明会(越知面) 行政相談(梶原病院3F) | |
| <p>○毎週水曜日…予防接種 (四種混合、麻疹・風疹(MR)、BCG、日本脳炎、子宮頸がん、ヒブ、小児肺炎球菌ワクチン、水ぼうそう、B型肝炎)</p> <p>○毎週水曜日…育児サークル(支援センター4F 講義室)</p> <p>○川畑 真理子 心理カウンセラー相談日…30日(火)、31日(水) ※月2回になりました。</p> <p>○ゆすっ子相談センター相談日…16日(火)午後、23日(火)午後、30日(火)終日</p> | |

平成28年度 梶原消防団幹部・女性消防隊幹部被災地研修 平成25年豪雨災害・島根県津和野町 平成26年豪雨災害・広島県広島市 (2月17日(金)～19日(日))

豪雨災害の被災、避難、救助、復旧の各状況について、貴重な体験談を聞き、今後の消防団活動や後方支援に役立てる事を目的に、2月17日から19日まで、梶原消防団幹部9名、女性消防隊幹部4名が研修に参加しました。

17日(金)は島根県津和野町の、益田広域消防署津和野分署で、激甚災害に指定された平成25年7月豪雨災害の被災状況から復旧活動について津和野分署職員から説明を受けました。

この豪雨災害は、1時間雨量が100mmを超え、島根県内での死者は103名、行方不明者4名全壊家屋939棟の被害をもたらし、津和野町では死者2名、行方不明者2名、倒壊家屋49棟で被災の8割以上は、土砂災害によるものでした。

被災後、道路の冠水や橋の流出による国道、町道の分断で三週間の通行止め、電力復旧は二週間、水道復旧は1ヶ月以上要しました。

行方不明者捜索では、車両走行は出来ず、炎天下の中、徒歩での捜索により多くの団員が熱中症となり、対策として、スポーツドリンクが有効でした。

女性団員による、避難所での受

付や食事配膳手伝い、清掃活動、また、活動服を着ている事で、面識のない住民からの信頼感と安心感等、実際に災害を体験し活動した事による貴重な体験談を被災現場の写真や図面を交えて話していただきました。

被災復旧工事が8割完了している津和野川では、多くの工事現場が見られ、川岸は自然石が綺麗に並べられていました。国道横の小谷は、被災から3年以上経過したにも関わらず多くの場所で交通に支障が無い土砂は撤去されずに放置されており、被災の大きさが伺えました。

18日(土)は平成26年8月豪雨災害で被災した広島県広島市安佐南区の小原山地区被災現場に実際に立ち、研修しました。

被災後、テレビ報道や写真で見ている現場は、広島市を一望できる高台に、一般住宅や県営住宅が立ち並んだ閑静なベッドタウンであるが、被災を免れた住宅の直ぐ横は、宅地であったであろう空地に花崗岩や風化したマサ土が露出し、山腹には幅200mの砂防が建設中であり「被災地なのだ」という実感と、土砂災害の大きさが伺え

ました。

被災時90～120mmの時間雨量が続き、一日で300mmの降雨となった地域もあり、1184件を超す土砂災害が発生しました。中でも、土石流は338件発生し、中には3回も土石流が発生した渓流もあり、より大きな被害をもたらしました。

小原山地区では25名の尊い人命が奪われ慰霊碑が建立されており、犠牲になられた方々に哀悼の意を表しました。

二箇所の被災地研修を終えて

○降雨量と土石流発生を十分に認識し、行政・地域とも早めに対応する事が重要であり、「今更で大丈夫だった」「災害に想定外だった」は許されません。

○行政・地区・消防団の連絡網を再度検討します。

○テレビ、インターネット等で天気・雨量予測を収集し早期の避難判断。避難する場合は、隣近所で声を掛け合い、早期にみんな避難し、玄関等に避難場所を掲示します。

○大雨の場合や、地震の場合、日中や夜間等を含め、避難場所の再検討が必要です。

○訓練の為の訓練ではなく、住民自ら被災想定し避難ルートや避難場所を考え、実際に歩いて確認しましょう。

○避難袋を準備し、普段から必要な物を入れておく。通帳や貴重品等、袋に入れる物をメモ書きしておきましょう。

○服用している場合『お薬手帳』を入れておきましょう。

○救助者が怪我や病気である事を考慮し、団員及び隊員へ救命講習の受講を徹底し、各事業所や地区住民の方々への、救命講習の受講を啓発します。



津和野分署職員による被災状況の説明



集落活動センターゆすはら西除幕式



集落活動センターゆすはら東除幕式

町内全区に集落活動センター開所

3月19日(日)、春らしい穏やかな陽気に包まれた中、西区、東区の生きる仕組みづくりを担う集落活動センター「ゆすはら西」「ゆすはら東」が開所しました。

集落活動センターは、平成25年に開所した「まつばら」「はつせ」を皮切りに、これまで町内の4つの区で立ち上がっており、「一生を梶原で暮らしたい」という住民の皆さんの願いを皆さん自身の手で叶えていただく仕組みとして、それぞれのセンターでガソリンスタンドやレストランの経営、さらには特産品づくりなど活発な活動が行われています。今回、新たに「ゆすはら西」「ゆすはら東」の2つの集落活動センターが開所したことにより、町内全区での取り組みがスタートすることとなりました。

開所当日、新たに集落活動センターの拠点となる西区生涯学習館と旧若草保育所では尾崎正直知事、山本有二農林水産大臣にご出席いただき、未来の梶原を担う梶原学園9年生の川上晋平さん、6年生の中越天翔さんの筆使いによる力感あふれるセンター看板の除幕式が盛大に開催されました。

その後、会場をゆすはら・夢・

未来館に移して約120人の出席者の下、開所式典並びに祝賀会が開催され、尾崎知事からは「町内すべてを複数の集落活動センターによりカバーし、総合的な仕組みづくりを通じて町のさらなる発展につなげるという取り組みは全国的なモデルとなる」との激励の言葉をいただきました。

また、町内全区において集落活動センターが開所したことに合わせ、お互いに足りないところを補い、さらなる取り組みへと繋げることを目的に「集落活動センターゆすはら」を発足、協議の場も「集落活動センターゆすはら連絡協議会」と名称新たに取り組みを進めていくこととされました。

式典後の祝賀会では、集落活動センター「まつばら」が研究に取り組んできた「八どぶろく」「八百とどろ」がお披露目され、乾杯となりました。会場の外では、各センターが開発してきた色とりどりの特産



開所式での物販の様子

品が販売され、多くの方が買い求めました。

集落活動センター「ゆすはら西」「ゆすはら東」では、今後、「できる事から進める」を合言葉にそれぞれの地域における文化的・自然的資源を生かしながら交流人口の拡大やジビエの利用推進、さらには農産物をお金に換える仕組みづくりや各福祉施設と連携した住民の支え合いの仕組みづくりなどに取り組む計画です。これらの取り組みにより、地域内にある魅力と住民の絆の力を磨き、地域経済の循環に向けた仕組みづくりを通じて集落活動の維持、発展がなされていくものと期待されます。



尾崎知事開所式挨拶



障がい者福祉大会 だれもが笑顔で暮らせるまち

「障がい者の暮らしを語ろう」

3月12日(日)、梶原町三障害者団体協議会(略称「三笑会」)の主催による「三笑会 障がい者福祉大会」が、ゆすはら・夢・未来館で開催されました。

当日は天気にも恵まれ、四万川家によるカレーの販売や、フリーマーケット、町内外の障害者事業所によるお菓子の販売等があり、たくさんの方が来場されました。

第1部はオープニングセレモニーとして、障害者支援施設梶原みどりの家の入所者の、網本カヅミさんと杉村志津香さんによる絵本『あなのあいたおけ』の朗読が行われました。

はきはきと文章を読み上げるその声と、一人ひとりにかけてくれない役割があると教えてくれる物語に、会場の参加者は聞き入っていました。

その後、梶原町三障害者団体協議会会長の高橋正知さんの挨拶があり、来賓の矢野富夫町長と須崎福祉保健所細木邦郎所長より祝辞が述べられました。

続いて、「私の暮らし」として、日高養護学校前生徒会長の川口妙



絵本朗読の様子

さん、梶原町身体障害者連盟会長の宮本友和さん、すみれホーム(障害者グループホーム)の入居者による意見発表があり、自分の居場所を見つけてくることができたことや、日々の生活の中で気づいたこと等、普段あまり聞くことのできない貴重なお話を聞くことができました。

第2部では、梶原こども園園児による、「ともだちになろうよ」の合唱から始まり、一生懸命覚えた手話を使って元気に歌う子どもたちに、会場の参加者から温かい拍手が送られました。

パネルディスカッションでは、パネラーの方々による各々の障害

についての話や、今までの経験等をお話いただき、障害があるからといって後ろ向きにならず、たくさんの人に助けられながら前向きに生活を送られていることが良く分かるものとなりました。

会の最後には梶原学園の生徒による「デビュー」の合唱があり、堂々と大きな声で歌うその姿に、会場参加者も一緒に口ずさみ、一体感が生まれていました。

今回の大会を終えて、「助け合い



パネルディスカッション

〈コーディネーター〉梶原町幼児教育アドバイザー 日向 國雄 氏
 〈パネラー〉日高養護学校前生徒会長 川口 妙 氏
 梶原町身体障害者連盟 下井 民江 氏
 げらげら会代表・梶原竹ぼうきの会副理事長 掛橋 培子 氏



手話を使った子どもたちの合唱

の心を考えさせられた」「日ごろ、聞く機会のない障害者の方々の生活を一部ではあるが知ることができて良かった」といった声もあり、障害のある人もない人も理解し合い、共に地域で暮らすため、互いに障害のある人の生活や思いを聞く、貴重な機会となりました。

梶原町三障害者団体 協議会より

障がい者福祉大会にお越しいただいた皆様、ありがとうございます。ありがとうございました。

「人が集まるだろうか」「プログラムの進行はうまくいくだろうか」と不安と期待の中での開催でした。閉会后に、「良かったよ」と言ってもらい、少しは安堵したものの、「どんな風に受け止めてくれたんだろう」と不安は拭きませんでした。しかし、たくさんいただいたアンケート用紙を見て、温かいご感想やご意見に触れたとき、「やって良かった」と目頭が熱くなりました。

多くの人に支えられ、それが力となってできた大会です。

皆様からいただいた言葉を、私たち三笑会の宝とし、これからの活動につなげていきたいと思えます。ありがとうございます。

梶原町三障害者団体協議会

高橋 正知
宮本 友和
長山久美子

ゆすはら未来大使に

日本食研ホールディングス株式会社

代表取締役会長 大沢一彦氏

2月28日(火)、日本食研ホールディングス株式会社代表取締役会長 大沢一彦氏に、ゆすはら未来大使を委嘱させていただきました。(任命日1月25日付)

ゆすはら未来大使は、本町にゆかりや愛着のある方々に、国内外において本町の観光情報をはじめとするPR情報の発信やまちづくりのアドバイス等をいただき、本町の認知度を高め、交流人口や定住人口の拡大を図ることで持続可能な町づくりにつなげることを目的としています。現在までに、33人の方にゆすはら未来大使にご就任いただき、それぞれが幅広い分野で活動いただいています。

この度、ゆすはら未来大使を委嘱させていただいた大沢一彦氏は昭和46年に創業された日本食研ホールディングス株式会社の創業者で、日本食研グループ15社(売上金額1,080億円 社員数4,200名)の最高経営責任者として

活躍されています。愛媛県今治市に本社を置き、液体、粉体のブレンド調味料を軸に、世界で活躍する会社です。

これまでに、大沢氏をはじめ社員の方々には初瀬地区で製造している鷹取キムチについて、日本人にあった新商品作り等でお力添えをいただき、本町のまちづくりについてもご提言やご支援をいただいているところです。

今回のゆすはら未来大使の委嘱にあたっては、町長が愛媛県今治市の本社を訪問し、工場の見学や会社の事業概要を説明いただくとともに、大沢氏と町長との懇談も行われました。

その中では、大沢氏がこれまで培ってきた豊富な知識や経験から、現在本町が取り組む事業等についても、貴重なアドバイスをいただくなど、大変意義深い懇談となりました。



ゆすはら未来大使委嘱
日本食研ホールディングス(株)本社(愛媛県今治市)にて
(※右が大沢一彦氏)

大沢氏には、集落活動センター「ゆすはら西」が活用に取り組みのジビエについて、料理方法や加工・販売などにご指導をいただくことになっており、今後も本町の応援団として、本町における新たな取り組みや、人づくりなど様々な面でご指導ご支援をお願いするものです。

平成29年度 梶原町森林組合 通常総代会開催

3月28日(火)、平成29年度通常総代会を、町、町議会、県出先機関、関係団体の臨席のもと、総代員数195名中、147名(実出席93名、委任状8名、書面46名)の出席を得て、地域活力センターで開催しました。

組合長挨拶に引き続き、来賓の吉田尚人副町長、二宮栄一須崎林業事務所長、中越利茂森林組合連合会会長から祝辞をいただき、議長に土釜清町議会議長が就任し、第一号議案から第六号議案まで慎重な審議が行われ、全議案が提案どおり承認されました。

◆組合長挨拶の要旨

28年度の組合事業につきましては、FSC森林認証が平成12年に認証を取得して16年目を迎えることとなり、11月にはFM森林認証(認証面積113412ha)及びCOC加工流通過程認証(森林価値創造工場)についての年次監査を受けました。引き続き自然環境に優しい森林整備の実践や持続可能な林業経営を目指し、FSCブランドによる梶原産材の販路拡大に努めております。

販売事業では素材、ペレット原

材料の取扱量も順調に推移し、梶原町水源地域森林整備交付金の助成もあり、平成28年度においても、1万㎡を超える原木取扱量となり、組合製材工場への原木供給、町外への素材販売も順調に進捗しており、ゆすはらペレット工場の原材料供給も在庫ができるほどになりました。また森林所有者においても、交付金助成により、材代、補助金を含めた総収入が増加し、間伐や原木搬出意欲の増大に繋がっております。

また、高性能林業機械の導入後、利用間伐を中心とした林産事業を拡充させ、人材の確保・育成を進めるとともに、林内路網の整備を進めています。

加工事業では、四国島内、関西地域の工務店などの販売ネットワークを構築し、家族単位やバスツアーを受け入れ、住宅用原木の伐採祈願祭、製材工場の見学会や関西方面での工務店主催のセミナー等に参加し、安心・安全な梶原産材で住宅を建築される施主様が増加し、製品市場が厳しい状況の中での一定の販路拡大に成果を上げることができました。

◆平成29年度の事業計画

さて今年度の目標として、「自覚」・「革新」・「挑戦」の3標語を掲げました。

様々な状況をそれぞれの個人が自覚をし、継続すべきことは継続し、変化に伴い改善が必要な事項については新たな見識によって改革をし、そして「チーム森林組合」としてその目標に向かって、それぞれの部署が英知を結集して何事にも挑戦をする思いであります。

このような状況を踏まえ、森林整備部門では、森林資源を活用し川上から川下までの連携により地域経済を活性化させるため、高知県、梶原町の指導を得て、林業事業体、自伐林家との連携を強化して、作業道開設・皆伐も含め利用間伐を推進し、まず川上側での原木生産量の拡大を目指します。

さらに昨年に引き続き、組合直営班の編成・拡充と併せ、各地域で小グループ作業班の編成についても可能性を探求し、新たに外部作業班の組織編成について検討致します。

加工販売部門では、素材やペレット原木の取扱量を増大させ、FSC認証ブランドによる顔の見える家づくりをさらに進め、新たな木材需要の創出と安心安全な地域産材

の販売に努めていきます。管理部門では、引き続き「中期経営計画」の見直しを行い実行していきます。

また人材育成では、ゆすはら産業担い手育成塾での研修を始め、森林施業認定プランナー養成や伐採・搬出、加工技術の担い手確保と技術の継承、さらには販売営業担当者ならびに水源林育成士などの育成も行います。

さらに組合事業全般において、今まで以上に関係者への説明を行い、かつ信頼関係を築ける取り組みや、林業に無関心な森林所有者への情報提供や事業の見積提案等を行い、事業の拡充を行っていきます。

本年度も引き続き厳しい状況が予想されますが、役員一一致団結して事業を推進してまいりますので、組合員を始め関係機関の皆様のご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



梶原こども園だより



卒園おめでとう

3月24日(金)、卒園式がありました。式当日の子どもたちは、これから訪れる未来に向かって、希望いっぱいの明るい表情でキラキラ輝いていました。式では緊張しながらも、一人ひとりが楽しかった思い出や夢を発表しました。

大谷なるほ

「看護師さんになりたいです」

山下さくや

「警察官になりたいです」

大村くうや

「テレビ局で働きたいです」

片岡あおは

「大工さんになりたいです」

上田みゆ

「美容師になりたいです」

立道らいが

「大工さんになりたいです」

中越らん

「警察官になりたいです」

竹下こ

「パティシエになりたいです」

田村ゆうすけ

「電車の運転手になりたいです」

武正さらさ

「美容師さんになりたいです」

森山そうすけ

「パパのお手伝いがしたいです」

橋詰ゆい

「ケーキ屋さんになりたいです」

岡本ゆいと

「警察官になりたいです」

岡本ゆりの

「花屋さんになりたいです」

川上たける

「警察官になりたいです」

森山こたろう

「やすちゃんのお手伝いをしたいです」

廣瀬いぶき

「警察官になりたいです」

掛橋いちがく

「警察官になりたいです」

津野ゆなね

「アイス屋さんになりたいです」

森野てんせい

「警察官になりたいです」

森田りこ

「警察官になりたいです」

尾野しょうま

「大工さんになりたいです」

藤原ゆうが

「大工さんになりたいです」

今城のい

「花屋さんになりたいです」

日々の生活や体験からやりたいことがいっぱいみつかりました。みんなの夢を応援しています。いつまでも…。

梶原学園 だより VOL 58

卒業式

小中一貫教育校梶原学園の卒業式が行われ、卒業生が巣立っていきましました。式ではたくさんの保護者、来賓・関係者の方々をお迎えし、厳かな雰囲気の中で、校長先生より一人ひとりが卒業証書をいただきます。

小学校・中学校同じ敷地内での生活を送り、様々なことを共有してきました。6年生は小学校のリーダーとして、9年生は学園のリーダーとして、梶原学園を立派に導いてくれました。小中合同の運動



会・ウエルカムコンサート・読み聞かせ・学習発表会など、それぞれの思いを胸に4月から、新たな中学校生活・高校生活が始まります。ぜひ、これまで学んだことを生かして頑張ってほしいと願っています。

立志式(7年生)

3月16日(木) ゆすはら・夢・未来館で7年生の立志式を行いました。保護者・地域の方、卒業生などたくさんの方のご臨席のもと、7年生23名の立志式を行うことができました。

立志式は、元服にちなんで(数え年の)15歳を祝う行事です。7年生一人ひとりが、壇上に立ち、現在の自分自身をふり返り、これからどのように変わっていくかなければならないか決意表明をしました。真剣な顔で自分の決意を発表する子どもたち。大変素晴らしいと思えます。子どもたちは、自分の将来の決意や目標などを明らかにすることで、おとなになる自覚を深めることができたのではな

いでしょうか。これから多くの人の出会いとそこから得た知識を吸収し、人間としての基礎を大きく育んでいけば、自分が目指すよりよい姿がきつと生まれてくると思います。参加してくださった保護者の皆様、ありがとうございました。

2分の1成人式(4年生)

3月2日(木)、4年生の2分の1成人式を行いました。子どもたちが成人の2分の1にあたる10歳を迎えたことを記念して行う行事です。子どもたちが生まれてからの10年間を振り返り、保護者や家族にあてた感謝の手紙を読みました。手紙を読む中で、感極まって涙ぐんでしまう子どもたちの姿に、保護者も教員も感涙しました。保護者の方からも子どもたちにそれぞれ手紙を渡しました。子どもたちの気持ちを聞いたたり、保護者の思いを伝えたりと、保護者と子どもたちが意思を疎通する機会になりました。感動的な式になりました。



離任式

平成29年の人事異動で梶原学園を去られる教職員の離任式が3月24日(金)に行われました。学園の在校生だけでなく、卒業生も参加して行われた式では、児童生徒会から、心を込めたお礼の言葉とともに、最後のお別れをしました。児童生徒と過ごした学園での日々を、きつと忘れることなく、新しい赴任校でも今まで同様に活躍されることと思います。

転任者

【中学校】

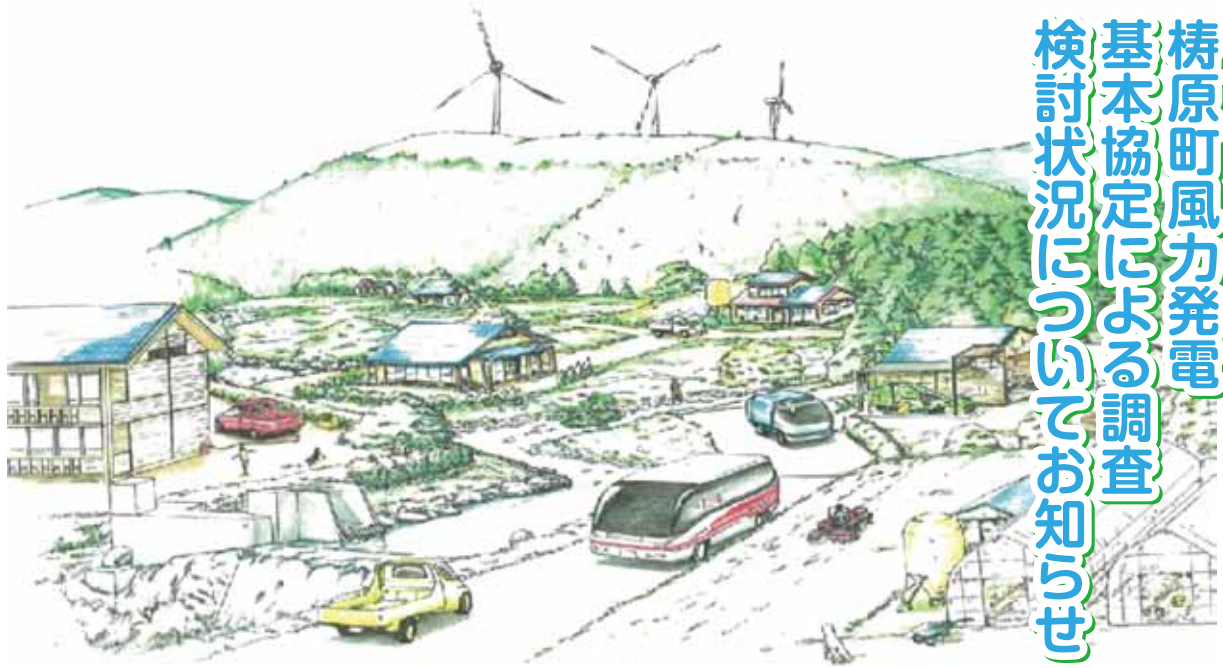
西森 大城 (教頭)
 中谷 友紀 (養護教諭)
 妙木 彩夏 (講師)
 堀内 健策 (講師)
 前田 裕佑 (講師)
 花岡 知歩 (講師)

【小学校】

谷口 忠大 (教諭)
 豊永 梨恵 (教諭)
 笹岡 美恵 (教諭)
 大崎 聡子 (主事)



梶原町風力発電
 基本協定による調査
 検討状況についてお知らせ



日頃は、住宅への太陽光発電の設置やエコ給湯の設置及び新エネルギー等活用施設の設置にご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。昨年4月号におきまして1基あたり2,000kwの八基建設を断念せざるを得なくなったことや梶原第一発電所におきまして2,000kwの接続容量の空が出てきたことについては誌面にてお知らせをさせていただいたところですが、その後の状況についてお知らせいたします。

本町における風力発電の今後の在り方については、これまで高知県、四電エンジニアリングとの基本協定により、調査検討を重ねてまいりました。その中で現状の送電線は最大で2,000kwまでの接続容量しか利用ができません。2,000kwの風車一基とすることでの検討を行っているところです。

今後については、四国カルスト台地に1基2,000kwの風力発電施設を設置することが将来的に望ましいのかどうか、事業実施にあたっては、町単独での実施が望ましいのか、または特定目的会社や第三セクターなどによる実施が望ましいのかといった事業主体をどうするかという点や施工方法、維持管理等を含めた収支の詳細な見通しなどについて、更に調査や検討を行うこととなりました。並行して環境モデル都市として取り組んでおります太陽光発電の設置等についても一層の推進を図り、2050年の目標である自然エネルギー自給率100%を目指していきたいと考えておりますのでご理解、ご協力をお願いいたします。

【問合せ】

環境整備課
 環境モデル推進室

☎ 65-11251

けんこうふれあいコーナー

年に1度は健康チェックをしましょう！

健診を受けることは病気の発見ができ、早い時期に治療をすることができただけでなく、自分自身の健康状態を確認し、生活習慣を振り返る大切な機会になります。年に1度は必ず健診を受けて健康チェックをしましょう。

地区総合健診が6月から始まりま

す。地区総合健診で受けることができる健診は次の4つです。

- ① 肺がん検診
- ② 大腸がん検診
- ③ 胃がん検診
- ④ 健康診査（特定健診）

●対象者

国保加入者または、社会保険の被扶養者、後期高齢被保険者等

①③は40歳以上の方

④は18歳以上の方

④については、40歳～74歳の方、75歳以上の一部の方は特定健診。

★75歳以上の一部の方について

前年の11月から今年の1月までに生活習慣病で病院にかかってな

い方で、かつ6カ月以上入院していない方、施設に入所していない方です。

★事業所等にお勤めの方（社会保険等本人の方）は、事業所が実施する健診を受けるようにしてください。

①③の検診については、事業所が実施する検診で受けることができます。詳しくは保健福祉支援センターにお問い合わせください。

●日曜健診も実施します。

「平日の健診は仕事があるため受けることが難しい。」という方にはぜひおすすめです。場所は、役場1階で行います。

●個別健診を活用しましょう。

★特定健診（40歳～74歳の方、75歳以上の一部の方）

特定健診受診券と医療保険証があれば契約医療機関（高知県内人間ドックも一部可能）で特定健診を受けることができます。特定健診受診券については、国保の方は

保健福祉支援センター、社会保険の家族の方の場合は職場にお問い合わせください。国保の方が、枥原病院、松原診療所で受診する場合は無料で受診することができます。予約が必要ですので事前に医療機関へ連絡をしてください。

●女性（集団）検診は10月です。

マンモグラフィ検診は予約が必要です。対象者の方には子宮頸がん検診とあわせて地区の健康文化の里づくり推進員が9月頃に希望を取りに伺います。

〈対象者〉

*マンモグラフィ検診…40歳以上の方で今年度偶数年令の方（2年に1回）

*子宮頸がん検診…20歳以上の方で今年度偶数年令の方（2年に1回）

*対象者以外で希望される方は全額自己負担をすれば受診することができます。

*他のがん検診と同様に事業所で実施する検診で受けることができます。できない方は受診することができます。

※子宮頸がん検診は医療機関での個別健診も利用することができます。

詳しくは、保健福祉支援センターにお問い合わせください。

【問合せ】

保健福祉支援センター

健康増進係

☎ 0889-65-1170

各地区総合健診日程

| 健診日 | 曜日 | 対象地区 | 健診場所 | 一般受付時間 |
|--------|----|--------------|--------------|------------|
| 6月13日 | 火 | 松原区 | 松原体育館 | 8:30～10:00 |
| 6月14日 | 水 | 越知面区 | (旧)越知面小学校 | 8:00～10:00 |
| 6月15日 | 木 | 四万川区 | (旧)四万川小学校 | |
| 8月29日 | 火 | 東区(川西路他)・初瀬区 | 健康増進センター(大越) | 8:30～10:00 |
| 8月30日 | 水 | 東区(町組他) | | |
| 8月31日 | 木 | 西区 | | |
| 11月12日 | 日 | 全地区 | 総合庁舎(役場) | |

○東区(川西路他)…川西路、太郎川、神在居、仲洞、豊原、川井、川口、初瀬区
○東区(町組他)…下後別当、大蔵谷、北町、東町、西町、南町、中町、飯母

要約筆記者養成講座

聴覚障害者に文字で情報を伝える要約筆記者の養成講座です。書きとパソコンの2つのコースがあり、全29回の受講者の方を募集します。

※パソコンコースを受講される場合は、パソコンの持参をお願いします。(応相談)

対象者

講座修了後、高知県要約筆記者認定試験を受験し、試験合格後に要約筆記者として継続して活動できる18歳以上の方

期間

5月20日(土)～12月9日(土)

全29回(予定)

毎週土曜日

9時30分～12時30分

場所

高知市障害者福祉センター

(高知市旭町2丁目21-6)

募集人数

30人

受講料

無料(ただしテキスト代等の実費3500円程度が必要)

申込期限

5月8日(月)

申込方法

申込先へ電話、FAX又は電子

メール(住所、氏名、電話番号を記載)

【講座に関する申込、問合せ先】

特定非営利活動法人

要約筆記高知・やまもも

養成講座担当 廣田

☎088-879-5534

FAX 088-842-2519

E-mail youyaku.y@gmail.com

【広報に関する問合せ先】

高知県障害保健福祉課

☎088-823-9634

ゆすはら子育て世代

包括支援センター開設

梶原町においても、核家族化が進み、子どもを取り巻く環境も大きく変化しています。

身近に相談できる、また、居場所があり心にゆとりを持つことが良い子育てにつながりますが、社会も大きく変わり、女性の社会参加も進む働く母親も増えていきます。そうした中で子育て世代に対して支援しながら、アドバイスする場を設けていく事が重要です。

この様な事から、4月から、支援センター1階に「ゆすはら子育て世代包括支援センター」を開設し、妊娠期から乳幼児期までの継続的に支援できる体制をつくり、

妊娠・出産・子育て期にわたる切れ目のない支援を行っていきます。

「ゆすはら子育て世代包括支援センター」には、保健師や助産師による育児相談や訪問事業、育児サークル等についても支援していきますので気軽にご利用ください。また、子育てについて相談がありましたら、支援センターまでご相談ください。

【問合せ】

保健福祉支援センター

☎0889-65-1170

第7期介護保険事業計画&高齢者福祉計画
ニーズ調査を実施します

介護保険制度が平成12年度に開始され、3年に一度、すべての市町村において「介護保険事業計画・高齢者福祉計画」を策定することとなっています。被保険者数や認定者数、必要なサービスの見込み量や費用等を推計し、3年間の第1号被保険者の介護保険料が設定されます。

平成29年度は第7期計画策定の年となっており、要介護状態となる前の高齢者のリスクや社会参加状況を把握することで、地域の抱える課題を分析し、新しい介護予防事業等に繋いでいけるよう、下に記載する調査を実施します。

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
対象者

65歳以上の方で、要介護認定を受けられていない方

設問数

63項目

調査は、4月から6月の予定で、梶原町社会福祉協議会の職員がご自宅を訪問し、聞き取り調査に伺いますので、ご協力をお願いいたします。

【問合せ】

保健福祉支援センター

介護保険係
☎0889-65-1170

くらしの悩みごと相談所

6月1日(木)

午前10時～正午

午後1時～午後4時

内容

弁護士・司法書士資格を有する「人権擁護委員」によるくらしの悩みごと相談所」を開設し、家庭や職場、地域社会等における差別待遇、セクハラ、DV、いじめ等の人権問題に関するあらゆる相談に応じます。

場所

高知よさこい咲都合同庁舎9階
(高知市栄田町2-2-10)

その他

相談は無料で、相談内容の秘密は厳守します。事前予約制です。ですのでお早めに御予約ください。

【問合せ】

高知地方方法務局人権擁護課
☎088182213503

寄付のお礼

このほど、次の方からご寄付をいただきました。町ではその趣旨を十分に尊重し、有効に活用させていただきます。紙面をもってお礼とご報告申し上げます。

ふなゆびづくり寄付金として

田辺 真司様 (大阪市)

その他の寄付

杉本 貞雄様 (下西の川) 町政発展へ

松浦 信隆様 (いの町) 故・松浦繁雄氏逝去に伴う香典

返しとして社会福祉へ

西村 正義様 (仲洞)

故・西村 務氏逝去に伴う香典 返しとして社会福祉へ

ストップ！ 子どもの交通事故

子どもの交通事故防止を目的として、3月24日(金) 梶原学園の通学路に「ストップマーク」を貼り直しました。地元の少年警察ボランティア(志手功さん)、須崎署員、地域安全協会職員が昨年貼った4箇所を点検し、はげている箇所を張り直したものです。

須崎地区少年補導員等連絡協議会
須崎警察署・須崎地区地域安全協会

子どもさんが一件たりとも交通事故に遭わないように、笑顔で登下校できたらうれしく思います。



こんな“けし”を見つけたら、福祉保健所まで連絡を！

けしの仲間、通常4月から6月にかけて美しい大きな花を咲かせますが、その一部には、法律で栽培が禁止されているものがあり、誤って庭先などに植えられている事例があります。

お心当たりのある方は、勝手に抜かず、須崎福祉保健所までご連絡をお願いいたします。

【連絡先】須崎福祉保健所 衛生環境課 ☎0889-42-1999



不正けしの特徴

- ①花びらは一重のものや、八重のものなど様々ある赤、薄紫、白、桃などの色がある
- ②葉は互い違いに茎につき、茎を抱き込むような形
- ③葉や茎にほとんど毛がない

福祉のまちづくりの拠点
梶原町社会福祉協議会事務所 完成

このたび、梶原町社会福祉協議会事務所が完成いたしました。建物は、梶原病院・保健福祉支援センターに隣接しており、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすため、生活上での心配事や困り事を気軽に相談できる「総合相談窓口」として、設置しました。1階には、相談室(兼)授乳室、多目的トイレなどもあります。

事務所の運営は、梶原町社会福祉協議会を指定管理者として指定し4月1日より開所しておりますので、町民の皆様にお知らせします。



完成した梶原町社会福祉協議会事務所

文芸



杉の子俳句会

源流の小谷に走る雪解水

影浦 鉄心

足繁く通う土手なり露の董

野中たねお

菜の花や手押し車の二人づれ

下元 廣幸

古い猫や梅が咲くとて木に登る

大崎みなと

先祖より継ぎし商い卒業す

氏原 陽子

石塔を洗ひて野辺の菜花挿す

西村 幸枝

卒業や送らるる者送る者

西村 蒼子

春塵や赤塗り重ね旧ポスト

内野 純子

囀りや茂みに揺れる枝あまた

久岡 智子

えぼし俳句会

水温む目で追う母の押し車

下元 澄子

水温む瀬音に混じる鳥の声

ヒネ・バンビ

廃船に廃れし漁具に春の雪

宮崎真由子

幼手のぬくもり残るつくしんぼ

宇都宮由利子

地虫出づ吾も一步を踏み出しぬ

中越 律子

子の寝息ほどの風あり春夕べ

瀬戸口登貴恵

菜の花や見え隠れする園児帽

西村 智子

一日を遊び呆けてつくしんぼ

温地あゆみ

春夕べ酌み朝にはひよいと死す

千光寺昭子

胡麻摺って家内香ばし春の暮

岩元 芙美

明るさに長居している春の暮

古野 節子

四万十川の川面躍りし春一番

下村 弘花

十歩ほどの所へ長靴春の雪

岩井 章子

柚子の木俳句会

朝刊の終活の文字涅槃西風

広瀬 みえ

匂やかな墨絵のさくら春の風

西村由利子

お通しや大人の味のつくしんぼ

西森 誠子

朝暖房昼半袖の季節来る

中越 緑

土手いっぱい音符奏でる土筆かな

中平 忠雄

孫の句やそつと見ている沈丁花

中越 郁子

土筆摘み山里暮れてしまいきり

渡辺 瑞枝

丸坊主袴をはきし土筆棒坊

中越 秋子

土筆建つ御破算にして今年また

広瀬 卓雄

川柳

遠雷に屋台早めに店じまい

付度に付度重ね損たくさん

ゆす原人々

狂歌

二枚舌調査委員の面々が

善くも言うたり金科玉条

開闢来最大級と言う割りに

殿の減俸羽毛の如し

ゆす原人々

編集後記

今年は何年より遅い桜の開花となったが、いよいよ新年度がスタートしました。ピカピカのランドセルを背負った25名の小学一年生、その姿には思わず笑顔もこぼれます。交通事故などに遭わないよう気を付けて、楽しい学校生活を送ってもらいたいです。

町内一中学校に統合した'82年から34年を数えるが、本年3月に梶原中学を卒業した生徒の89%が梶原高校に進学、過去最高の入学率になったと先日新聞で報道されました。

高橋校長は小規模校の特性を生かして、教員や住民、行政とのつながりの中で「生徒が成長し、目指す進路や目標が実現できる環境を作りたい」と。また、矢野町長も「若者の声が聞こえることは、町の明るさと活力につながる。町の最高学府として全面的な支援を続けたい」と話されていた。

県教委では一時期、入学者の少ない小規模校の統廃合を論議したこともあったが、本町のような中山間地域では、高校が存続するか否かは一大事であり、保護者の経費負担は元より本町の経済に及ぼす諸々の影響も計り知れないものがあります。

地元中から梶原高校への入学率アップは喜ばしい限りであるが近年の少子化の中、これからの生徒数をみても厳しい状態には変わりなく、小規模校の特性をフルに活用し、学校や保護者、地域と行政の連携で「より一層の魅力ある梶原高校づくり」と、地域外からの生徒の呼び込みにも努め一学年2学級の学校運営に期待をします。

広報編集委員会

※出生・死亡・婚姻については個人情報につき掲載の了解をいただいた方を掲載しています。

おめでた

| 住所 | 氏名 | 性別 | 出生年月日 | 保護者 |
|----|-------|----|---------|------|
| 川口 | 中越 小桃 | 女 | H29.3.8 | 中越和進 |

おくやみ

| 住所 | 氏名 | 性別 | 死亡年月日 | 年齢 | 世帯主 |
|-----|-------|----|----------|----|------|
| 六丁 | 竹下 初恵 | 女 | H29.3.8 | 86 | 本人 |
| 永野 | 中越恵美子 | 女 | H29.3.17 | 89 | 中越利一 |
| 本も谷 | 松浦オソメ | 女 | H29.3.17 | 93 | 松浦博務 |
| 広野 | 片田 正 | 男 | H29.3.22 | 99 | 本人 |
| 川西路 | 田中篤喜子 | 女 | H29.3.22 | 96 | 田中康廣 |

未来へ夢と希望をタイムカプセルへ



4月8日栲原町区長会・部落代表者会の当日、栲原町歴史民俗資料館敷地内にて、20年後の未来に夢を託してタイムカプセルを埋設しました。

埋設式では、矢野町長が「平成28年度に町制施行50周年という記念の年を迎えました。この節目を記念して、皆さんの夢や希望をタイムカプセルに詰めます。私も未来の町長に向けて謝辞を入れておきます。20年後に開けましょう。」と挨拶を行いました。



また、児童生徒を代表して栲原学園9年生の二宮生好さんが「将来は、たくさんさんの自然や、美しい街並みの栲原町で育ったことに誇りを持ち、地域に貢献していきたいです。20年後、34歳になった私がタイムカプセルを掘り起こすことを心から楽しみにしています。」と述べました。



挨拶をする二宮生好さん

その後、矢野町長、土釜議長、区長会長、栲原高校・栲原学園の児童生徒の代表者の計10名がボールを締め、記念撮影をしました。このタイムカプセルには町内の各区や各団体、学校等から未来に向けて462件のメッセージや写真等を収納しています。また、西暦2036年(町政70周年)に開かれることとなっています。



たね 4月号 No.706

発行所／高知県高岡郡栲原町役場
 ☎0889-65-1111
 URL <http://www.town.yusuhara.kochi.jp/>
 発行 兼 編集／栲原町役場 印刷所／栲中島出版印刷